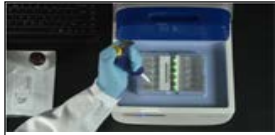

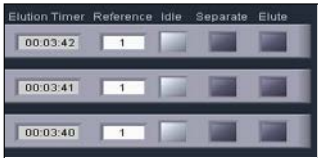
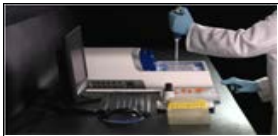


# 自動ゲル抽出装置Pippin Prepの操作概略

使用環境： 性能維持のため、ご使用時の室温は17℃～22℃をお願いします。

**\* 詳細な操作方法およびトラブルシュートは、取扱い説明書をご確認ください。**

操作順	操作	別紙注意点
1	Sage Science社 Pippin Prep ソフトウェアの起動	
2	プログラム設定 (詳細は別紙参照)	*01
3	LEDキャリブレーション (詳細は別紙参照)	
4	カセット開封 バッファー量、流路およびゲルの確認 マーカーレーンに気泡が無いことを確認 (サンプルレーンの気泡は問題ない)	*02 *03 *04
5	カセットを本体にセット (セット時に一度、右側を高くして 気泡を端に寄せる)	*05
6	カセットのシールを剥がす	
7	カセットの溶出ウェルからバッファーを全量抜き 新しい泳動バッファーを40uL入れる サンプルウェルを確認(バッファーで満たす)	*06
8	通電チェック 画面中央下段にある「TEST」ボタンをクリック	*07

9	<p>サンプル調製 (サンプル30uL+ローディングバッファー10uL) サンプルウェルからバッファーを 40uL抜く</p>		*08
10	<p>サンプルとマーカーを 各40uLロード 溶出ウェルをシールで塞ぐ</p>		*09
11	<p>泳動 約30-480分 (* カセットの種類と抽出条件に より、泳動時間は異なります。)</p>		*10 *11
12	<p>泳動終了の確認 ・Elution Timerに溶出時間が記録されている ・Separate (緑) またはElute (オレンジ) の ランプが点灯していない</p>		*12
13	<p>溶出ウェルからDNA回収</p>		*12 *13
14	<p>泳動終了後、カセットを取り出し、蒸留水を入れたリンス・カセットをセットし、 約1分間フタを閉じて、電極を洗浄・脱塩する。</p>		*14
15	<p>リンス・カセットを取り出し、シャットダウンし、画面が消えたら、 最後に電源を落とす。</p>		